

ほこぶる



社会福祉法人

ミッドナイトミッションのぞみ会

乳児院 望みの門方舟乳児園

〒299-1607 千葉県富津市湊 705

TEL 0439-67-2131 FAX 0439-67-2134

URL <http://www.nozominomon.or.jp>

Eメール hakobune@nozinomon.or.jp

発行責任者 佐野 毅

編集責任者 井本 千鶴

第6号 2011年5月1日

あなたは決して一人ではない

園長 佐野 毅

二〇一一年三月十一日金曜日。午後二時過ぎ。

「どどーん」と突き上げる大きな地響きと共に、地面全体が次第に大きくゆっくりと揺れ動き出しました。方舟乳児園の子どもたちの何人かは、午睡からようやく目覚め始めた矢先の出来事でした。二階の園長室にいた私は、「これは、いつもの地震とは違うぞ。」と瞬間的に、何かとんでもないことが起きる序章のような妙な胸騒ぎがして、急いで階下に居る子どもたちを職員と共に叩き起こし、子どもたち全員の無事を確認すると共に、普段の避難訓練で行っているとおりに急いで全員を園庭に集合させ、揺れが治まるのを静かにじつと身を低くしゃがんで待機しておりました。やがて二回目のような大きな揺れが始まったので、子どもたちの安全を見守る職員と、施設内のガス・火の元の確認および施設の貴重品他非常持ち出し品を持ち出す職員のふた手に分かれて行動するよう指示を出すと同時に、隣接の同じ法人内の児童養護施設にも電話連絡を入れました。ところが、大きな揺れと同時に地域全体が停電し電話回線および携帯電話もすでに不通になっていましたので、配下の職員を隣接施設の状況確認に走らせました。

幸いにも、隣接の児童養護施設でも特に大きな混乱はなく、子どもたちも皆無事だ、とのことでしたが、高校生の何人かは夕方のアルバイトに出ており、まだ戻ってきていない、とのことでした。

電池式の携帯ラジオで情報収集に努めましたが、時間の経過と共に刻一刻と地震による甚大な被害が深刻化していることが分かり、背筋がぞつと寒くなったのを覚えています。

東北地方をはじめ被災地の方々におかれましては震災後一カ月以上を経過しても未だなお復旧・復興の途上にあり、今回犠牲になられました方々の御冥福を心よりお祈り申し上げますと共に、ご遺族の方々をはじめ被災された方々には一日も早い復興と平安が訪れますようお願いいたします。

大震災の翌日から、テレビをはじめ公共のメディアでは繰り返し「やさしさ」とか「思いやり」とか「あなたは一人ではない」といったキャッチフレーズが繰り返し放送されるようになりました。

こちら方舟乳児園でも特に嬉しかったことは、普段音信不通で面会にもなかなか来て下さらない保護者の方々から「うちの子どもは、大丈夫ですか？」と心配の電話を何度かくださったことです。

私たち職員も、このことには痛く感動しました。事情があつて今は子どもと一緒に生活できないけれど、親御さんは我が子の安否を何よりも気遣っていてくださったんだ、と。

この子どもたちが大きくなった時には、このことを本人にきちんと伝えようと思います。「あのとき、あなたの親御さんは、あなたのことを誰よりも心配して何度も電話を掛けてきてくださったんだよ。」と。そして「あなたは決して一人ではない。」ということ。三月十一日のことは、私たちの記憶の中から決して消え去ることはありません。

1月1日 お正月



2011年の年明も9名の子どもたちと笑顔いっぱい迎えることができました。元旦の朝は、手作りのおせち料理とお雑煮で新年をお祝いしました。おやつの中には園長から大きなお年玉袋に入れたお菓子をもらい大喜び。みんな大満足のお正月でした。昨年はまだ言えなかった「おめでとう」を上手に言えるようになった子どもたちの成長を喜びつつ、今年もウサギのように跳ね回りながら大きく成長してほしいと願っています。(C)

2月3日 節分

昨日まではとても寒かったのですがこの日は特別暖かく外で「豆まき」ができました。



いざ鬼役の園長パパに向けて「鬼は外」と思いきや誰も投げません。「人に向けて投げたいよ」なんて言われて、戸惑いもあったのでしょいか。お手本を見せるうちに少しずつ上手になりました。「豆まき」には興味を示さず落ちた豆を一心に拾い集める子もいて可愛らしかったです。最後は「鬼」と記念撮影をして節分のおやつをいただき、とても楽しい一日を過ごしました。(C)

2月25日 お弁当



方舟乳児園自慢の芝生の園庭でお弁当を広げ、遠足気分を味わうことにしました。当日は、お天気にも恵まれ絶好のお弁当日和となりました。園庭にしジャーシートを敷き詰め準備万端。お弁当箱のふたを開け、満面の笑みを浮かべ真っ先にイチゴをほおばっていたAちゃん。「さあ、次は何を食べようかな」「カニさんウィンナーにアンパンマンポテトどれにしようかな」子どもたちはいつもと違う環境に、はじめはちょっと緊張気味でしたが、みんなで楽しく野外ランチを楽しみました。(T)

3月3日 ひなまつり



女の子全員で着物を着ておひなさまの前で記念写真を撮りパチリ。着物姿にはじめは少々緊張気味だったBちゃん。でも、カメラを向けるとニッコリ笑顔で、とても可愛かったよ。昼食は、調理さん手作りのちらし寿司をいただき、おやつには桜もちと雛あられ、桃のカルピスでお祝いしました。男の子も大切な思い出にと、一緒に記念撮影をしてとても楽しいひなまつりを過ごしました。(M)

3月30日 防災訓練

毎月1回行っている避難訓練。今回は地元富津消防署のイケメン体育会系消防士さん立会いのも行いました。子どもたちは、非常ベルの合図と同時に園庭へ避難。職員は消火器による消火訓練も行い、非常時に備えられた。子どもたちは園庭に停まっている真っ赤な消防車に興味深々。普段はなかなか見られない本物の消防車を前に口々に「大きい」「かっこいい」を連発。

消防車に乗せていただき、記念写真もパチリ。本物の消防士さんになったみたいでかっこよかったよ。(C)



はじめてのいっしょ

「はじめてのいっしょ」は、職員の自主的な勉強サークルです。外部から講師を招き児童福祉関係の講義を受けたり、近隣他施設の見学会を行ったり、また交替勤務のため職員同士ゆつくり話す時間がなかなか持てないので、このサークル活動を通じてお互いに情報交換をしたり、保育や小児医療関連領域について各自で調べた資料を持ち寄り、職員が講師役となって自主的に勉強する場として活動していきます。他の職員の考えを知る事が出来たり、養育者としての自己の養育のあり方を見直す良い機会にもなりました。このサークルを通

じて学んだことを活かし、子どもたちに望ましい関わりが持てるように切磋琢磨していきたいと思います。(Y)

CSP講座



CSP (コモンセンスペアレンティング)とは、子どもに対する親の言葉かけや行動を変えることで、よりよい親子関係を築くための「子育て支援プログラム」のひとつです。よりよい親子関係とは何か?それはお互いがお互いを理解し、信頼し合える関係になることではないでしょうか。つまり、いつもお互いに笑顔溢れる関係を作るためのプログラムともいえるでしょう。この講座で学んだことを活かし、いつまでも大人も子どもも笑顔いっぱいの方舟乳児園でありたいと思います。

(J)

年度のまとめ



2010年度は、児童養護施設へ1名、里親さんへ1名、実親の元へ1名の計3名の退園と、それに伴う3名の入園がありました。退園した3名の子どもたちは、それぞれの場所で愛情たっぷりに育てられていることを願っています。また昨年度の入園児は、2名が新生児、1名が生後1ヶ月を迎えたばかりという幼さでした。そんな子どもたちの「家庭

に代わる養育の場」として、「関わりチェックリスト」を活用し、乳児院で必要とされる養育について見直し、養育者として必要なスキルを身に付けられるよう努力してきました。また月齢が低いほど、感染症などのリスクが高まります。その危険から、子どもたちの健康を守るための養育態勢を強化してきました。乳児院の養育は「保育」だけでも「看護」だけでも成り立ちません。乳児院でのケアについて改めて考えを深める一年であったと思います。昨年度の養育態勢の反省を踏まえ、2011年度も、子どもたちとより適切な関わりが持てるよう職員一同、更に一層努力いたします。(Y)

寄贈品・ボランティア

ありがとうございました

子どもたちのために温かいご芳志を賜り、職員一同大変感謝しております。ここに御礼を申し上げますと共にご報告させていただきます。

【寄贈品・献金】

- ・(社)千葉県造園緑化工事業協会 池谷晃様
- ・千葉ロッテマリーンズ 今江敏晃様
- ・ファミリーマート様
- ・日本基督教団千葉南教会牧師 松本希和様
- ・株式会社ピコプリモ様
- ・船橋市 志農裕美子

・京葉後援会のみなさま

・日本基督教団千葉教会のみなさま

・日本基督教団茂原教会のみなさま

・日本基督教団長生教会のみなさま

・三井住友海上システムズ株式会社人事総務部総務グループ 山崎ひとみ様

・大阪市水道局様

・大阪道頓堀心斎橋ライオンズクラブ様

・思いやり活動まるごみ薩摩本部実行委員長様

・産経新聞千葉総局様

・八千代市 山本医院様

・タイガーマスク伊達直人様

【ボランティア】

・読み聞かせボランティア(岡部様・新保様)

編集後記

4月。転入・転出、新たな出会いと別れの時。

今年度も、職員2名の別れ(退職)と1名の異動

(転勤)、そして新たに4名の職員を迎えました。

産経新聞千葉総局様

を通じて県内の沢山の

方々の想いが込められて

いる立派な鯉のぼりを

賜りました。五月晴れの

大空に舞う鯉のぼりの

ように強く逞しい子

どもに育ちますように。

(T)



職員紹介

園長 佐野 毅



出身地：東京都中野区
愛称：えんちょうパパ
お気に入りスポット：伊豆大島
(都会の雑踏から逃れて3年間「島暮らし」をしていました。)

主任 井本 義樹



出身地：千葉縣市原市
愛称：だーパパ
お気に入りスポット：山梨県にあるほったらかし温泉
富士山を眺めながらの温泉は最高です。(もう3年程、行っていません…。)

副主任児童指導員 井本 千鶴
(家庭支援専門員)



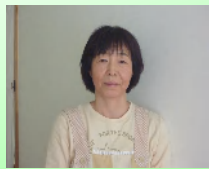
出身地：千葉県千葉市
愛称：ちいママ
お気に入り：プランター野菜作りから今年は園庭の一角で
野菜作りを始めました。上手にできるかな…。

副主任看護師 足立 利江



出身地：千葉県旭市
愛称：とちママ
お気に入り：テレビドラマを撮り溜めて、
一気に見ること。

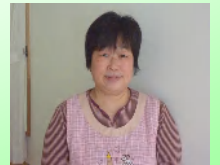
副主任保育士 牧園 美智子



出身地：千葉県富津市
愛称：みちこママ
お気に入り スポット：ジャスコ
家に近いのでよく行きます。

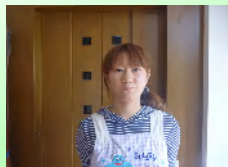
【転任職員】(H23.4.1付)

副主任保育士 榎本 一代



出身地：福島県
愛称：いちよママ
お気に入り：子どもの剣道(部活)の追っかけです。

保育士 岩田 唯



出身地：千葉県君津市
愛称：ゆいママ
お気に入り：友達と過ごす時間や
ゴロゴロしている時間、買い物をしている時間が好きです。

保育士 海野 雅代



出身地：千葉県印西市
愛称：まさよママ
お気に入りスポット：
ディズニーランド、ディズニーシー、海が好きです。

【転任職員】(H23.4.1付)

看護師 河野 倫子



出身地：北海道
愛称：りんこママ
お気に入り：映画を観るのが好きです。

【転任職員】(H23.4.1付)

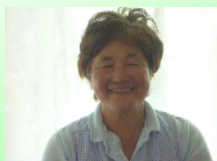
主任栄養士 鶴岡 はるみ



出身地：千葉県富津市
愛称：はるみママ
お気に入り：出掛けることと食べること
鎌倉・湘南に出掛けるのは特に好きです。職業病か色々な物を何でも味見したが、写真におさめたりするのがクセです。

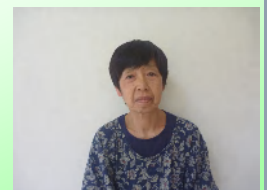
【転任職員】(H23.4.1付)

保育士 新谷 あき子



出身地：千葉県木更津市
愛称：あきこママ
お気に入り：自慢のオープンカー(ユーノス・ロードスター)
ファッションにこだわり、素敵な場所で雰囲気を楽しむのが好きです。

介助員 青木 芳枝



出身地：神奈川県逗子市
愛称：あおきばあばあ
お気に入り：ジャスコでお買い物、
ガストでお食事するのが好きです。